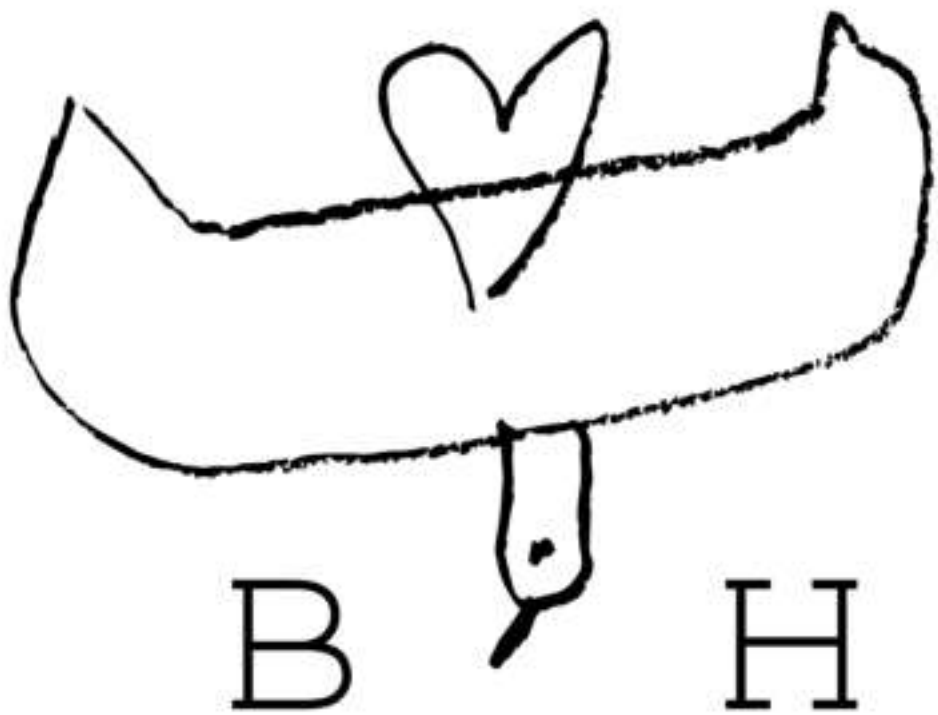


2025.10.29

厚労省ろうきょうオンラインセミナー



\ はじめまして！ /

HAT○文化編集部

草刈朋子 吉原美穂 米田朋代 / 木原進（監事）

HATO文化編集部

概要

- 組合員／編集者 3 人＋監事 1 人
- 設立／2024年11月29日（東京都世田谷区で2番目の労協）
- 業務内容／企画・編集・制作・PR

子ども、女性、環境など社会的・文化的な視点を持ち、丁寧な仕事をこころがけています。
企画から執筆まで、良質な編集をします。

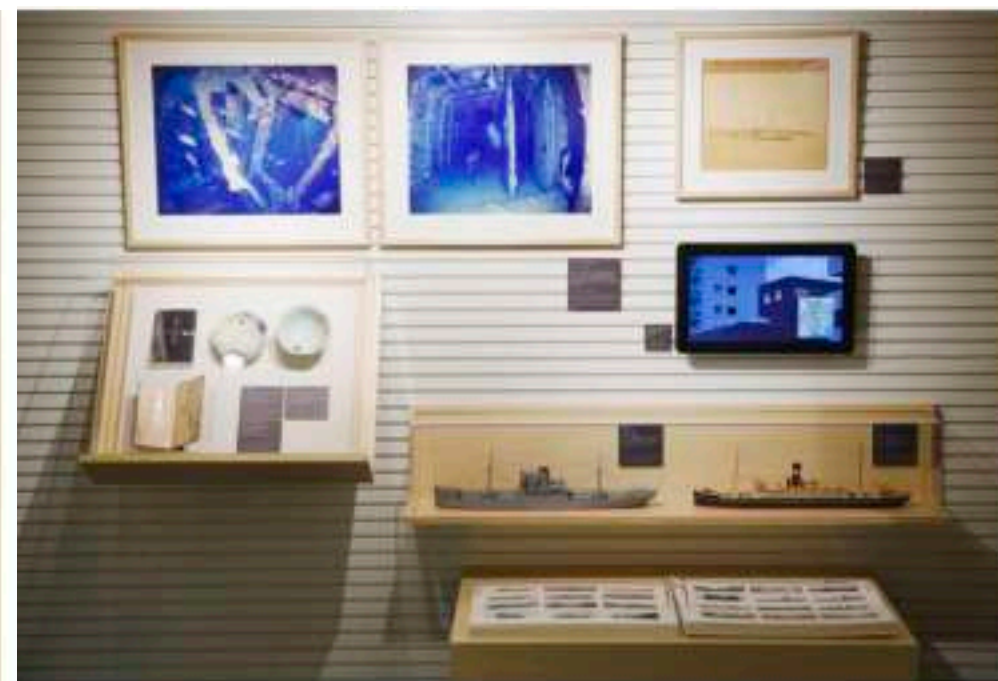
得意なテーマ

絵本、児童書／子育て／オルタナティブ教育／子どものアート、あそび、音楽／格差是正／多様性（ジェンダーフリー、フェミニズム、LGBTQなど）／サステナブルな食（安全性、食品ロスなど）／ヴィーガン、ベジタリアン／自然農法、有機農業／環境問題（気候危機、エネルギーシフト、プラスチック汚染など）／オーガニック雑貨、コスメ／東洋医学（漢方、整体、鍼灸、アーユルヴェーダなど）／食養生（薬膳、マクロビオティック、腸活など）／手仕事／民俗、歴史／精神文化

HATO文化編集部

これまでの仕事①

展示



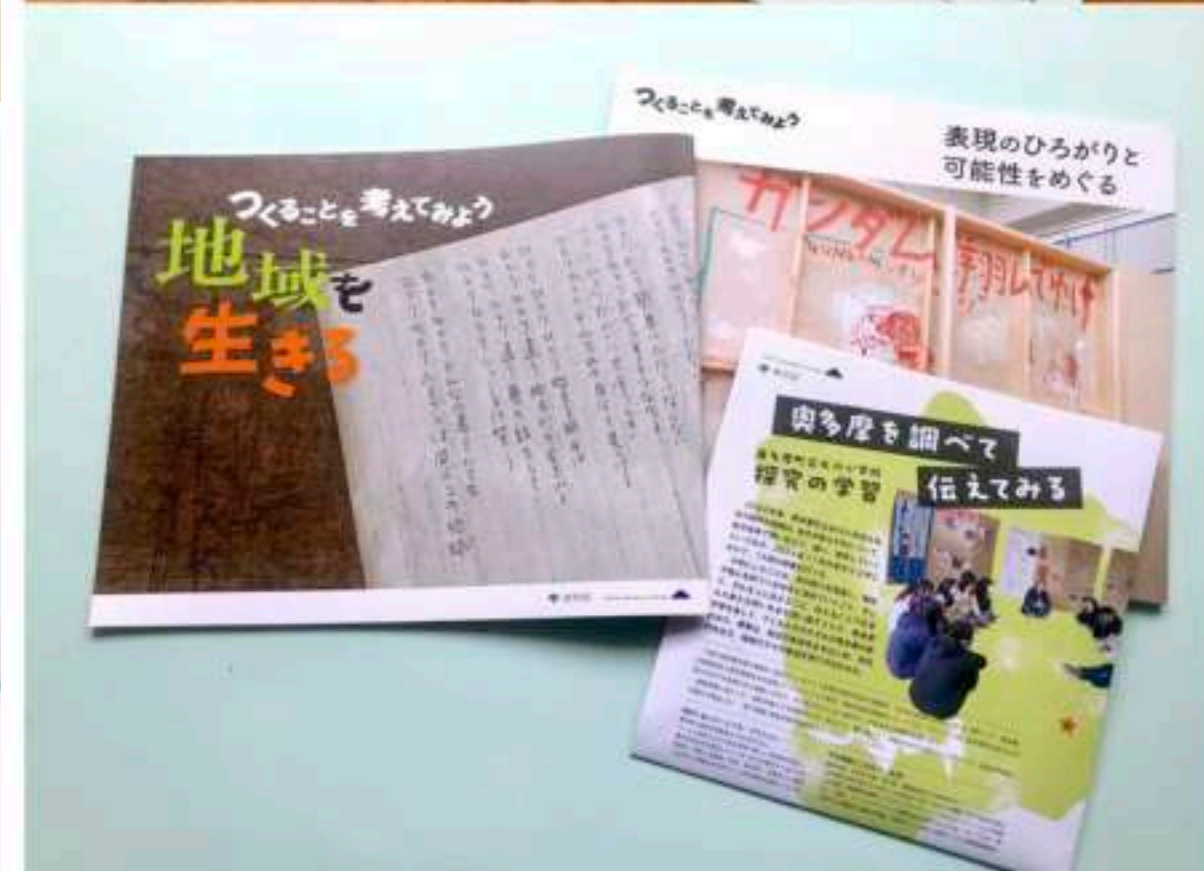
選書



HATO文化編集部

これまでの仕事②

紙媒体



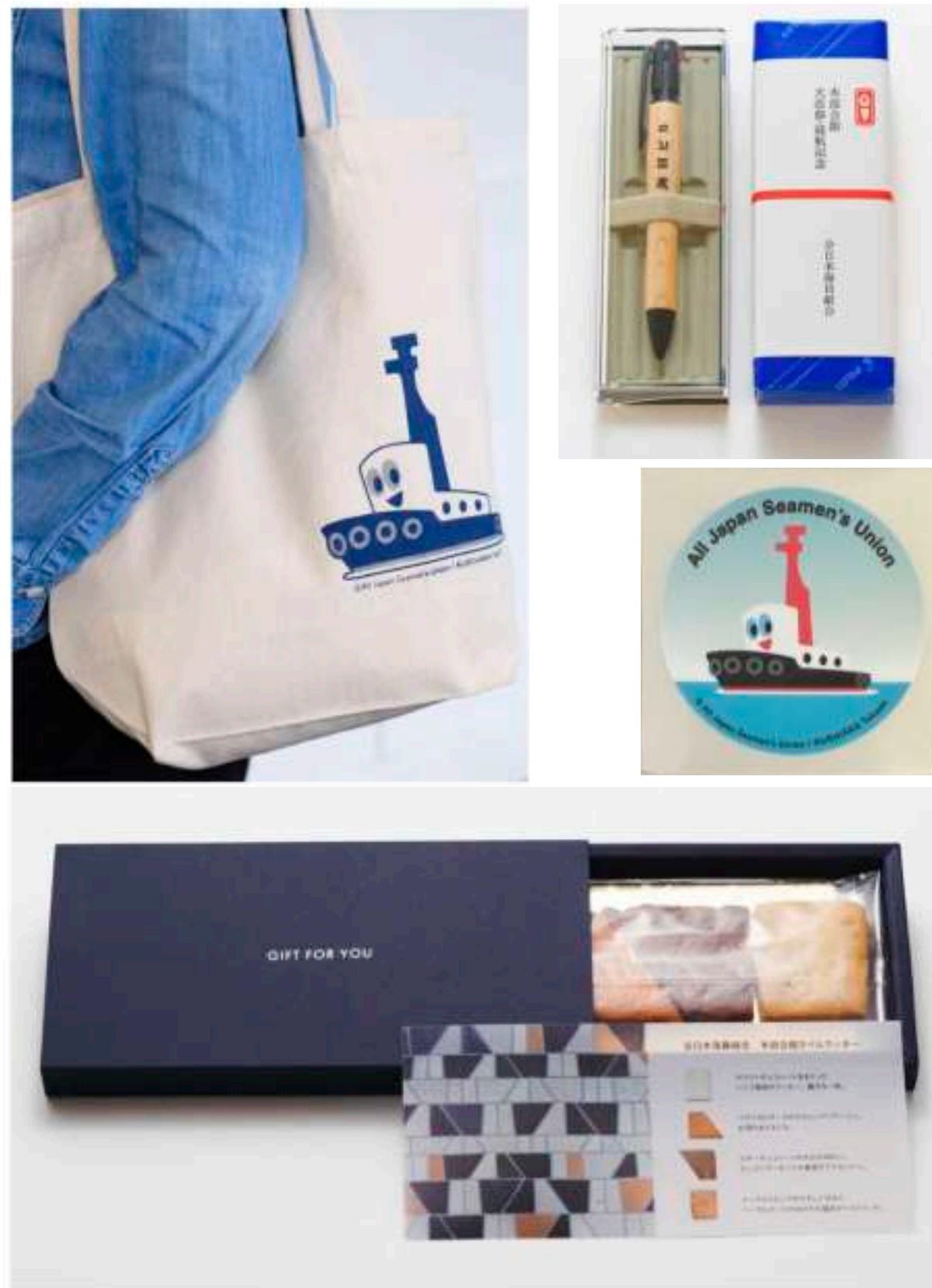
SNS



HATO文化編集部

これまでの仕事③

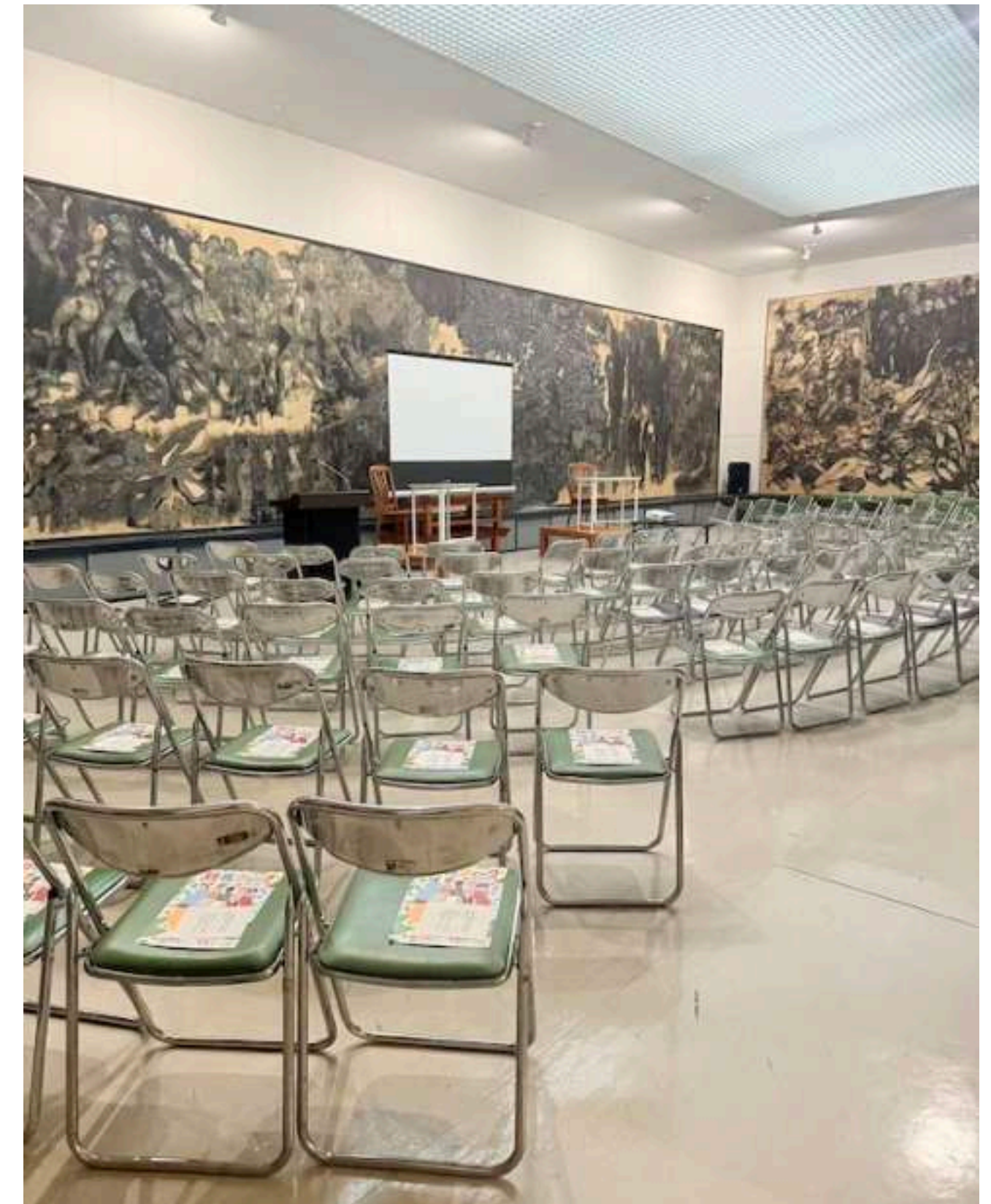
グッズ



イベント



講演会



HATO文化編集部

労働者協同組合を選んだ理由①編集者が置かれる社会状況

出版不況

- ・1995年をピークに、書籍、雑誌の販売部数が減少。

→雑誌流通がベースだった、取次システムが困難に。

- ・電子書籍はコミック市場が拡大。

→ライツビジネス、広告収入などで、コミックをもつ出版社は業績回復。

しかし伸び率は鈍化。

インボイス制度

- ・出版、広告業界では、著者、編集者、画家、イラストレーター、写真家、デザイナー、ライターなど個人事業主が多い。

→携わるひとたちの関係悪化、免税事業者の排除などが起こりかねない。

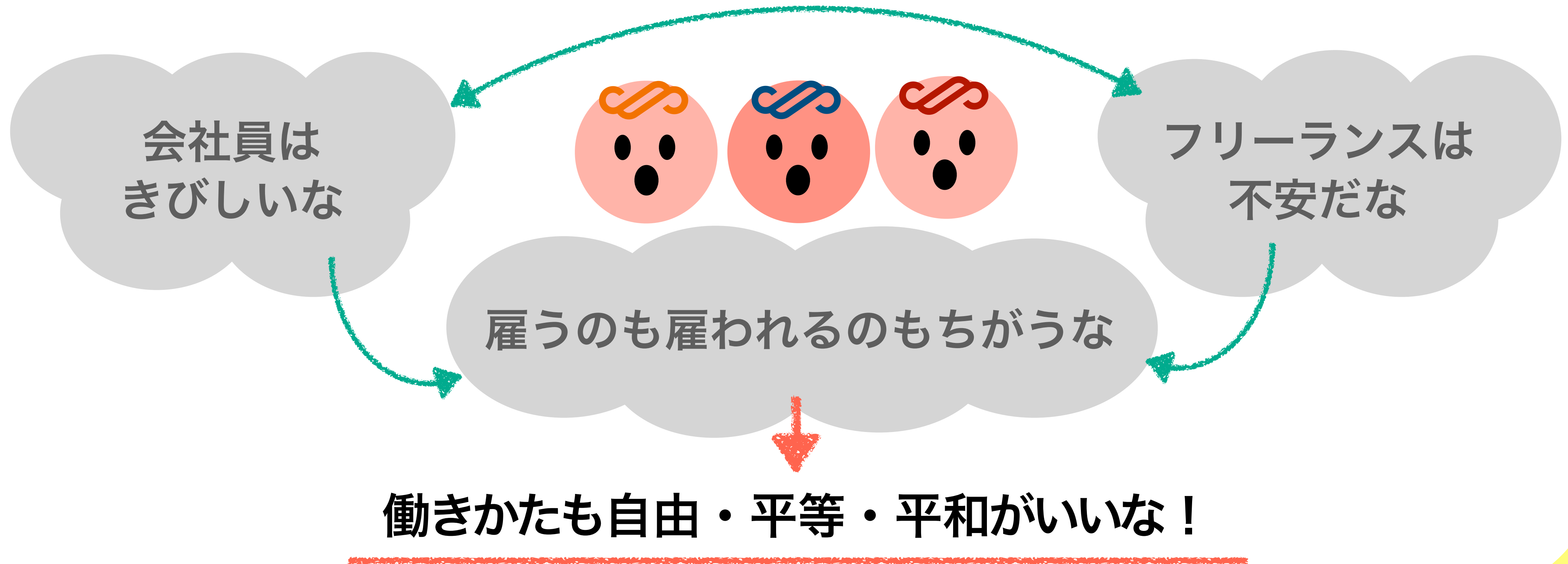


フリーランスでも会社員でも
つらい……！

HATO文化編集部

労働者協同組合を選んだ理由②理想的な働き方に適合

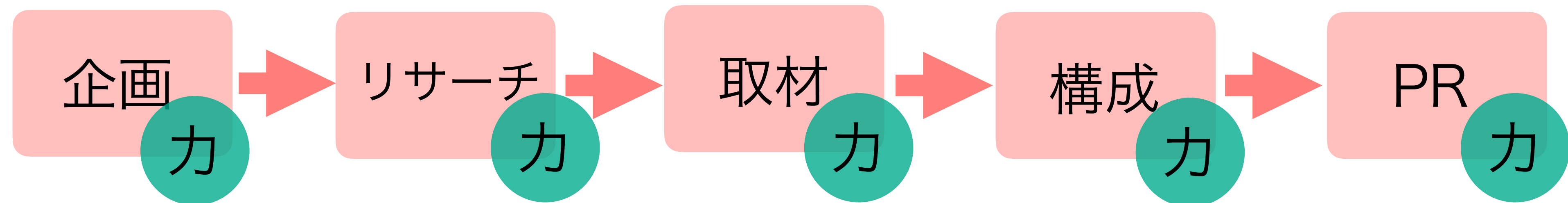
2人：元出版社会社員 1人：元個人事業主



HATO文化編集部

目指していること①編集者として

編集者のスキルを社会に！



チームだからこそそのクオリティを！

編集会議

意見交換



確認

意見反映

本づくり（編集作業）は
労働者協同組合の
運営に通じる

HATOの文化編集部

目指していること②労働者協同組合として

編集プロダクション？

合同会社？

ひとり出版社？

労働者協同組合

Ⅱ

事業と社会運動を両輪にした専門家の共同体

